



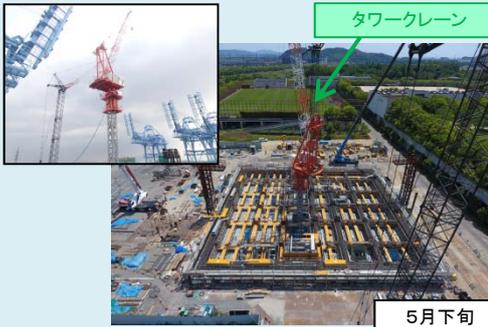
いろは呑龍新聞

2020年(令和2年)8月号
第56号

いろは呑龍トンネルに貯めた水を桂川へ放流するポンプ場を造っています。

呑龍ポンプ場・タワークレーンの撤去

呑龍ポンプ場の現場では、平成31年3月の設置から長期にわたり重量物の搬入作業等、工事を支えてきたタワークレーンを解体撤去しました。工事最後まで搬入等作業は、2台のクローラークレーンにより行います。ポンプ場周囲に設置した矢板、仮設足場を撤去して埋戻し、1階周囲の階段、バルコニーの工事を進めています。

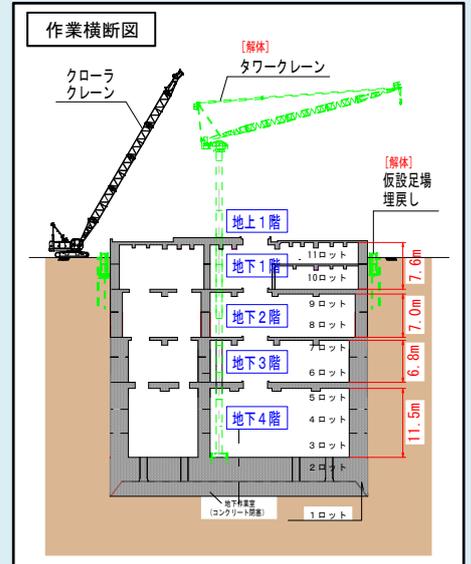


タワークレーン



5月下旬

7月下旬



地下室の構築状況

ポンプ場の地下室では、室内床面のかさ上げコンクリートによる仕上げやポンプ等の基礎コンクリート打設等の作業を行っています。地下室の現在の構築状況を写真で紹介します。



①地下4階ポンプ井

呑龍トンネルからの流入管の接続位置です。流入水を円滑に流すための滑り台が設置されています。



②地下3階ポンプ井

呑龍トンネルからの流入水を一時的に貯める空間です。



③地下4階ポンプ室
毎秒5m3排水ポンプの設置位置です。(天井まで約11.5m)



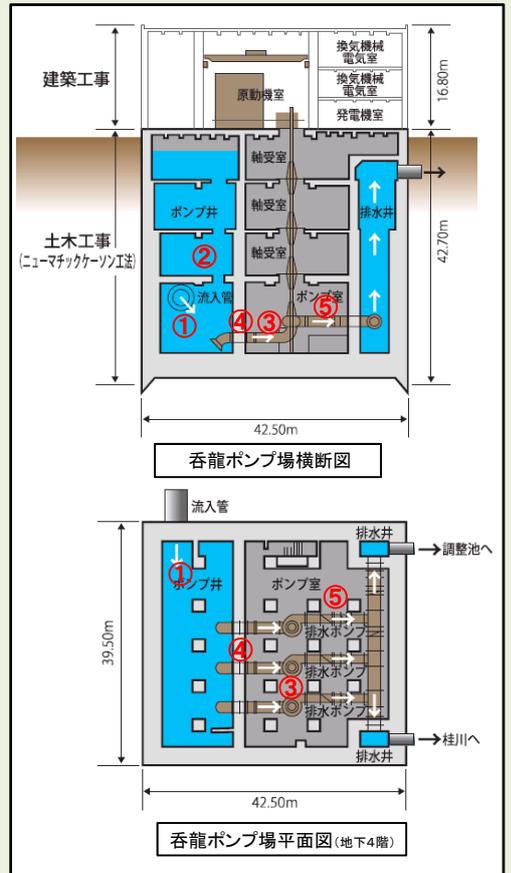
④地下4階壁埋め配管

ポンプ井とポンプ室の間の壁に先行して設置したポンプ用の配管です。(内径1.5m)



⑤地下4階ポンプ室

毎秒5m3のポンプ排水管の設置位置です。(天井まで約8.5m)



地下40mに大空間ができたんだね！

いろは呑龍新聞
バックナンバーはこちらから
<http://www.pref.kyoto.jp/ryuiki/donryu.html>

